

社会資本整備総合交付金 チェックシート

計画名称 平内町における循環のみちの実現

都道府県名 青森県平内町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	○
<p>・下水道事業計画による事業認可計画面積241haのうち平成27年度末で約139haが整備されており、引続き整備促進を図ることとしているものであり上位計画である青森県汚水処理施設整備基本構想との整合性はとれている。</p>	
②地域課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	○
<p>・地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした整備計画の目標を立てている。また、人口密度や各地区の状況及び要望等も考慮し、効果発現の高い地域から優先的に整備を進めている。</p>	
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
<p>・平成23年度に全体計画の見直しを行った。その際に将来人口の減少傾向を考慮した計画を組んでおり、整備計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。</p>	
②定量的指標の明瞭性	○
<p>・定量的指標は、当町の下水道の普及状況を的確に捉えており、未普及解消に適した指標である。</p>	
③目標と事業内容の整合性	○
<p>・事業内容は下水道整備に係わる事業としており、計画の目標と整合している。また、効率的な下水道施設の管理運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。</p>	
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
<p>・基幹事業の管渠と端部枝線整備を一体施工することにより、経済性の観点からも有利であり、また、工期も短縮され効果が高く、より効率的に下水道未普及解消を図ることができる。</p>	
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性)	○
<p>・着工前に下水道事業工事開始地区に赴き住民説明会を行って。地域住民に下水道事業の効果及び運用の説明をし、理解・協力を得ながら事業を遂行している。</p>	
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
<p>・地域住民からは快適な生活環境の確保、水質保全の観点から早期下水道整備の声も多い。農業集落排水事業、漁業集落環境整備事業及び合併浄化槽事業と連携しながら管渠整備を行い、汚水処理の促進し、汚水処理人口普及率の向上を目指すこととしている。</p>	